

会

派

の

意

見



公明党

公明党として、3月定例会において令和8年度一般会計予算及び提出された議案について慎重に審査を行い、意見・要望を行い賛成させて頂きました。

令和8年度は、バンビオの屋内こども遊戯施設整備やこどもの居場所づくりを通じた多世代交流事業にも取り組みます。

市内初となる幼稚園型のごども園開設支援と、こども誰でも通園制度も開始されます。引き

続き、子どもを豊かに生み育てる環境づくりを目指します。

教育分野では、小学校給食費の無償化、中学校でも物価高騰分は公費で負担されます。

一般質問では、ワクチン・検診の予防医療、5歳児健診実施に向けての質問を致しました。

はっぴいバスや公共交通維持などの課題にも取り組みます。

新庁舎も明るく利便性を高め、憩いの場所としても利用できる空間づくりを目指します。

公明党として市民の声を大切に、日々邁進して参ります。

文責は各会派にあります。

輝（かがやき）

令和8年度一般会計予算については、市民対話を重視し、その声が丁寧に反映された内容であると評価し、賛成いたしました。

今回の予算は、現場の課題や市民ニーズを踏まえた実効性の高い編成となっており、今後の市政運営において重要な基盤となるものと考えております。

一般質問では、市政課題を取り上げ、具体的な改善策や将来

を見据えた提案を行いました。

また、予算審査小委員会においては、質疑順に宮小路・大伴・富田がそれぞれの視点から質疑を行い、行政側と建設的かつ活発な議論を重ねることができました。

「輝」は、今後も対話を大切にしながら、市政の改善と政策の着実な実現に取り組み、市民生活のさらなる向上に努めてまいります。

引き続き、皆様のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

日本維新の会

令和8年3月議会では、一般会計予算等を審議いたしました。その規模は過去二番目となり、歳入歳出それぞれ385億2400万円が可決されました。

一般質問では、木曾 拓朗から「職員の働きやすい環境づくりについて」「晩婚化対策について」「市内南部・西部地域の買い物環境について」を質問し、中でも晩婚化対策として若年層への家賃等の補助、また市内南

西部の買い物環境を改善できないか要望しました。

一方、終 彰から「国際姉妹都市アーリントンとの連携を活用した英語教育の推進について」「英語力向上アプリ導入について」を質問し、小学生、中学生が英語能力を向上し、グローバルに生き抜く力を養える環境を整えるように要望しました。

今後、会派として市民の様々な課題に取り組んで参りますので、みなさまからの「声」や「要望」をお聞かせください。

終 彰・木曾 拓朗

令和自民党クラブ

今年12月新庁舎グラウンドオープンに向け、産業文化会館・市民広場・歴史資料展示室・保健センター整備や賑わい事業等が予算計上され、長岡公園第二期整備やゼロカーボンシティに向け長岡京若者気候会議の新設等に賛成し可決しました。

また、橋梁長寿命化修繕計画に関して質し、予防的修繕を含め順次修繕を進め安全性の確保に努めるとの答弁を得ました。

教職員の長時間勤務について質し、業務量管理計画等により子どもと向き合う時間を確保し教育の質の向上に努めるとの答弁を、子ども・子育て支援制度

については、児童手当の拡充、こども誰でも通園制度等の実施等の説明を含めた答弁を得ました。さらに、グリーンインフラ推進事業について、街路樹や公園整備等の計画を確認しました。

今後市民生活や事業活動の基盤づくりを推進して参ります。

三木常照・八木優貴

中小路貴司

令和西山クラブ

令和8年度予算は約385億円となり、12月にグラウンドオープンを迎える新庁舎は旧庁舎の解体工事も進み期待が高まる一方です。一般質問では「東ポンプ場跡地の防災・スポーツ施設」の整備に関し今後の課題や、方向性、住民意見の反映について、「文化ゾーンリノベーション事業」に関して、工事期間中の図書館や中央公民館の代替と、屋外空間を含めた目指す姿につ

いて、「本市の人権教育」に関しては、ゆるぎない安心が守られる社会を目指し、人権教育・啓発に関する意識調査や、SNSをめぐる人権侵害の調査結果、そして今後の取り組みについて、また「共生型福祉施設の今後の展望等」に関しては児童発達センターの役割や効果、地域生活支援拠点の機能と実施方法・コ

ーディネーターについて、さらに共生型交流エリアの今後の展開についてと、乙訓初の試みに対ししっかり質問いたしました。上村真造・田村直義・毛利元

日本共産党

新年度、保育所に0歳児20人、1歳児93人が入れませんでした。市の想定以上の申込があり、保育所・保育士ともに増やすよう求めました。住宅開発に見合う保育所が必要です。

府宮水道の「建設負担水量」が引き下げに。必要以上の水量を買うのは理不尽と、長年運動してきたのが前進です。しかし府は市・町の地下水施設の統廃合を検討しており、おいしい地

下水を守るため声をあげます。物価高やイラン攻撃の影響が深刻です。スーパーの閉店、移動販売の停止など、市民の買い物困難も起こっています。地域の商店は市民生活に直結しており、中小企業振興条例をいっそう生かすことを求めました。

イランでの早期の停戦を求める決議、奨学金金利の急上昇へ対策を求める意見書、高額療養費・OTC類似薬の負担増の撤回を求める意見書を提案、可決しました。インボイス廃止を求める意見書も可決しました。

長岡京未来の会

令和8年度的一般会計予算総額は、過去2番目の規模の約385億円で、市の借金は、前年度見込みよりも13億円減の412億円となりました。これは長三小（55億円）の建て替え費用の大半を、令和9年度に先送りしたため減少しています。

小田市政の時にJR長岡京駅西口再開発を行い、借金総額が年約8・5億円ずつ、中小路市政になってからは、年約14億円

ずつの増加となっています。

昨年から人口減少が始まり、これからを考えて、高架化と関係の無い阪急長岡天神駅西側再開発を300億円以上かけて行う必要があるのかどうかです。

そして、保育事業では、一歳児の保育所保留が、93人という重大な事態となっており、改善の提案をいたしました。また、女性消防団員について、次年度も女性が在籍していない自治体であるため、募集に関する要望をいたしました。

川口良江・小谷宗太郎

会派とは、同じ意見や考えを持つ議員が集まってつくるグループのことです。ここでは3月定例会で審議された内容について、各会派の意見を紹介します。